

2025年度出張授業一覧

※授業内容については一覧表の下部にある「授業に関する問い合わせ先」の各学科・専攻にお問い合わせください。

※英語英文学科、コミュニケーション文化学科については広報・募集グループにお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】大妻女子大学 広報・募集グループ ☎03-5275-6011 Fax 03-3261-8119 ✉ kouhou@ml.otsuma.ac.jp

家政学部

被服学科

最少催行人数：10

被服学科では、被服の素材から最終製品にいたる企画・設計・造形・ビジネス・カルチャー・心理領域までを理解すると同時に、被服と人間・社会・環境との関係性も学べます。出張授業では、実践的で、ワクワク感が高まる楽しい授業を受けることができます。

No.	授業名	内容	講師名	出張可能曜日	
				前期（4～7月）	後期（10～1月）
1	服装からわかる人の心	着ている服を自分はどうのように感じ、相手にはどのように見えるのかを研究する学問に「被服心理学」があります。この学問を通して、服装から私たちの心や他人との人間関係を考察してみましょう。	内田直子	水、木	水、木
2	服飾造形領域の学びと実践例	服飾造形のヒトとパターン・素材とデザインや、現代ファッションの課題であるSDGsやジェンダーなどについて、“より良い未来のために、服が力になれること”を服作りを通して考えます。	大網美代子		火
3	美術館でひらかれるファッション展	近年、美術館にて開催されるファッションの展覧会が盛況です。では、実際にどのようなタイプの展覧会がひらかれているのか、また様々な展覧会にはどのような意図があるのか。ファッションの展覧会を思考すること、企画すること、鑑賞することについて考えます。	小形道正	月	月
4	流行色からみるファッション業界	ファッション雑誌を題材に現在の流行色や、日本の流行色についても取り上げ、色がファッション業界や私たちの生活に与える影響について考えます。	中川麻子		水
5	繊維・ファッション産業の概要	日本国内のファッションビジネスを構成している、衣料品などの繊維製品に関係する業界構造について、お話しします。業界構造を理解することはファッション領域に限らず、対象とする業界のあらゆる事案を考える際に基本中の基本事項のひとつと言えるでしょう	中島永晶	水（午前）	水（午前）
6	時代とともに変わる家庭科の学び～高校生のための家庭科教育法入門～	家政学部被服学科では、中学・高等学校の家庭科教員免許状を取得することができます。教職課程の必修科目である家庭科教育法の講義内容を紹介しながら、「家庭科」の魅力や教科の特性について考えます。	永田晴子	火	
7	ファッションとブランド・マネジメント	ファッション・ブランドを題材にブランドとは何か、すでにあるブランドを活用する方法とは何かというトピックを通じてブランド・マネジメントを考えます。	原木英一	火（午前）	火、水（午後）
8	サステナブルファッション～地球環境と衣服素材～	着用しなくなった衣服がごみとなり、環境汚染が問題視されています。繊維・アパレル業界は、環境配慮型素材の開発、リサイクル・アップサイクルの推進などを行っています。このような状況の中で私たちができる取り組みを一緒に考えていきます。	水谷千代美	月	月
9	現代のファッションビジネスとファッションブランドの創り方	本出張授業では、現代のファッションビジネスの内容とSDGsを意識したファッションブランドの創り方、そしてInstagramなどを活用したブランド運営方法について、楽しく、分かりやすく講義します。	吉井健	月	月

授業に関する問い合わせ先

学科・名称	問合せ先	電話	メール
家政学部			
被服学科	共同研究室	03-5275-6083	hihuku.joshu@ml.otsuma.ac.jp